

電波を使った超高層大気観測

-観測ロケットとGNSSを使った電離圏電子密度計測-

主催：京都府中小企業技術センター、公益財団法人京都技術科学センター

現在、電磁波は通信や分析計測技術分野でめざましく発展しており、今後の製品開発において重要な技術となっています。また、電磁波を利活用しない場合においてもEMC（電磁環境両立性）などの要求から、電磁波について理解を深めていくことが重要です。京都府中小企業技術センターでは、これら電磁波にかかる技術について、製品開発や研究を行っている企業を対象とした電磁波技術セミナーを開催しています。令和4年度第2回セミナーでは、電波を使った超高層大気観測について、以下のとおり開催します。

□ 日時 令和4年8月31日（水） 14：30～16：30

□ 会場 オンライン 及び 京都府産業支援センター 5階研修室
（京都市下京区中堂寺南町 134）
※ 講師はオンラインで参加・配信されます

□ 内容

「電波を使った超高層大気観測 -観測ロケットとGNSSを使った電離圏電子密度計測-」

【講師】 奈良工業高等専門学校 電気工学科

准教授 芦原^{あしはら} 佑樹^{ゆうき} 氏

【内容】 1901年にマルコーニが大西洋横断通信に成功したことで無線通信の幕が明け、1924年にはアップルトンが電波の反射波測定から電離層の存在を実証しました。例えば、アマチュア無線愛好家におなじみのスポラディックE層（Es）は、通常は電離層を突き抜けてしまうVHF電波が反射されて地上に戻ってくるという異常伝搬現象を引き起こします。そのため、電離層研究は無線の研究者・研究所を中心に古くから行われてきました。近年では、電離圏擾乱（ゆらぎ）がGNSS（全球測位衛星システム）の精度に影響を与えることが知られています。本講演では、最新の電離圏電子密度測定法を中心に、電波を使った超高層大気観測について紹介します。

□ 対象 主に電磁波に関連した技術分野の製品開発や研究に携わる方

□ 受講料 無料

□ 定員 Web：応募状況により調整、会場：30名
（先着順・定員に達した場合はその旨ご連絡いたします）

□ 申込方法 当センターホームページからお申し込みいただけます
（<https://www.kptc.jp/>）※E-mail又はFAXでもお申し込みいただけます

□ お問い合わせ 京都府中小企業技術センター 応用技術課 電気通信係
TEL 075-315-8634 FAX 075-315-9497
E-mail：denki@kptc.jp

※ 感染症拡大予防のため、ご来所の際は裏面に記載の「受講にあたっての注意点」を遵守ください

京都府中小企業技術センター 電気通信係 宛
 (FAX: 075-315-9497)

第2回電磁波技術セミナー 申込書

企業名 (所在地)	〒	
連絡担当者	氏名	所属
	TEL	FAX
	E-mail	

参加者氏名	所属・役職	TEL	E-mail	参加方法
				<input type="checkbox"/> Web 参加 <input type="checkbox"/> 会場参加
				<input type="checkbox"/> Web 参加 <input type="checkbox"/> 会場参加
				<input type="checkbox"/> Web 参加 <input type="checkbox"/> 会場参加
				<input type="checkbox"/> Web 参加 <input type="checkbox"/> 会場参加

* 申込書にご記入いただいた個人情報は、本セミナー参加者名簿として利用させていただきます。

<会場、交通のご案内>

場 所 : 京都府産業支援センター 5階研修室
 住 所 : 京都市下京区中堂寺南町 134 (七本松通五条下ル) 京都リサーチパーク東地区内
 アクセス : JR丹波口駅より 西に徒歩5分

「受講にあたっての注意点」

- 会場には消毒液を設置し、会場の窓や扉の開放等による換気、他の受講者との間隔をあける等の対策をいたします。ご来所の際は、マスクの着用と丁寧な手洗い・手指消毒をお願いします。また、発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。
- 録画、録音等の配信データの記録、保存はご遠慮ください。

